

2016年6月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
6月7日	火	本会議	議場	議案提案・総括質疑
6月8日	水	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 平良木議員担当
6月9日	木	建設企業委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋本議員担当
6月10日	金	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 上野議員担当
6月13日	月	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 橋爪議員担当
6月14日	火	一般質問	議場	各議員の質問日は 追ってご案内 いたします
6月15日	水	一般質問	議場	
6月16日	木	一般質問	議場	
6月17日	金	一般質問	議場	
6月21日	火	本会議	議場	議案採決など

新水族博物館 本体工事入札



本会議で討論する平良木議員

一社のみでは競争にならない

契約議案に毅然と反対

臨時議会で日本共産党議員団

6月25日に行われた臨時議会には、上越市新水族博物館本体新築工事の「工事請負契約の締結について」などが議案として提出されました。

この契約案件では、5月2日に行われた入札に応じたのは、1社のみであったとのことですが、しかも、予定価格内の入札がなかったことから、3回に渡る入札が行われ、最終的に99.9%という高い落札率で決着したという案件です。

日本共産党議員団は、新しい水族博物館を建設すること自体に反対するものではなく、直江津地域の活性化、市内の賑わい



委員会でただす橋爪議員

向上にむけた必要な事業であり、特に直江津地域の市民からは、よりよい施設の建設を望む声が多く出されていることを重く受け止めていることを前提に、審議に臨みました。

いうまでもなく、入札の基本は、公正公平でなおかつ競争性が確保されることです。地方自治法には、「地方公共団体は、その事務を処理するに当たっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならぬ」とあり、入札にあたっては、公正公平な競争を経たうえで、最少の経費になるよう努力すべきことを求めています。

ところが、橋爪議員が所属する総務常任委員会でも、当局は、「(広告資格要件に該当する人及び法人が5社程度あるので、)実際に入札に参加する事業者あるいは法人が複数にならなくても、競争性は確保されている」との認識を示しました。

しかし、この点は、自治法の精神から見るといって納得できるものではありません。

実際、入札に参加した業者は1社のみでしたので、今回の場合、落札業者はいつたい誰と競争したのでしょうか。また、事前に提出されたという31もの質問も、提出したのは1社のみであったことは、入札日における入札参加者も1社のみであることが、事前に容易に推察できたことを示しています。

このように、実際の入札参加者が複数にならなかった場合は、もつと慎重に取り扱うべきであり、今回の入札は延期または中止するという判断をすべきでした。

以上のことから、日本共産党議員団は、今回の入札案件に関して、平良木議員が本会議で反対討論を行った上で、毅然として反対しました。

市民の日常の足確保に向けた運動継続誓い合う — 5年後の運賃など課題は山積 —

直江津・頸城の会 第8回総会

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 503 2016年6月5日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

「在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会(仲田紀夫会長)」の総会が、5月28日に市内で行われました。

この会は、信越線や北陸線の利便性ある存続に向けての市民運動を展開し、市民の要望を率直に訴えるなど、えちごトキめき鉄道の5年間の運賃据え置きなどの積極策の実現に大きな影響を与えてきました。

新幹線やトキ鉄の開業などで、運動も一段落という見方もある中で、開通から1年を経て、市民からの切実な要望が出された

り新たな問題が浮上してきていたりすることから、市民の日常の足を確保する視点で、今後も継続して運動を強めていくことをあらためて確認しました。

仲田会長は、「開業5年後の運賃がどうなるかなど、残された課題はまだまだ少なくない。郊外型の店舗の増大が続く中、鉄道を利用しない市民にいかにも利用してもらうかなどを含めて、あり方をしっかり考えていく必要がある」と、運動継続を訴えました。



来賓として黒木企画政策部長が挨拶